

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-093116

(43)Date of publication of application : 07.04.1995

G06F 3/12

(71)Applicant : FUJI FACOM CORP

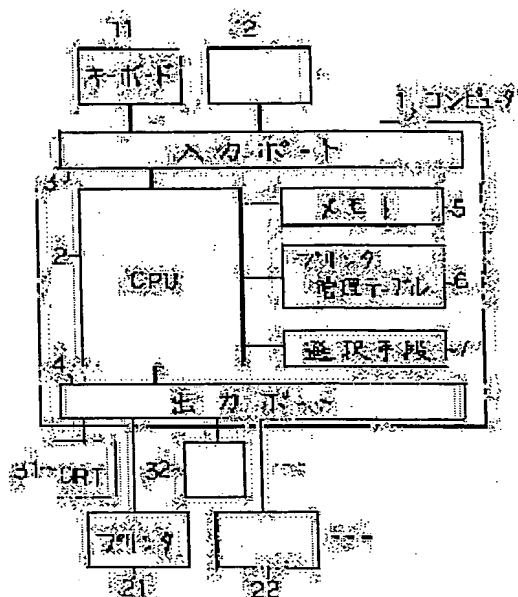
(72)Inventor : TAKEUCHI KAZUYA

(54) PRINTER SELECTOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To save labor for designating a printer to output data when using a computer in cooperation.

CONSTITUTION: A certain user approaches a computer 1 through a user identifier by using a keyboard 11, loads a prescribed program and designates the printer based on the same user identifier and a printer managing table 6 by using a selecting means 7. Concerning the configuration of the printer managing table 6, the code of the user identifier is registered and stored in the left column and the code of the printer is registered and stored in the right column respectively. The selecting means 7 is program-shaped and provided with a function for designating the printer to output the processing result data based on the printer managing table 6 and the user identifier to be inputted when utilizing the computer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-93116

(43) 公開日 平成7年(1995)4月7日

(51) IntCl.⁶

G 0 6 F 3/12

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

D

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-233980

(22) 出願日 平成5年(1993)9月21日

(71) 出願人 000237156

富士ファコム制御株式会社

東京都日野市富士町1番地

(72) 発明者 竹内 一也

東京都日野市富士町1番地 富士ファコム

制御株式会社内

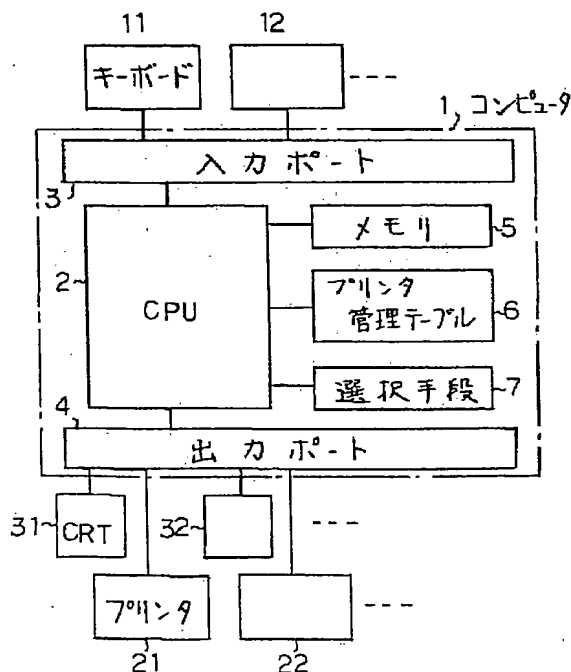
(74) 代理人 弁理士 山口 巖

(54) 【発明の名称】 プリント選択装置

(57) 【要約】

【目的】 コンピュータを共同利用するとき、出力させるべきプリンタの指定作業を省力化する。

【構成】 ある利用者が、キーボード11を用い、利用者識別子を介してコンピュータ1にアプローチし、所定のプログラムをロードするとともに、選択手段7によって、その同じ利用者識別子と、プリンタ管理テーブル6とに基づき、プリンタが指定される。プリンタ管理テーブル6の構成は、図示していないが、左側の列に利用者識別子のコードが、対応して右側の列にプリンタのコードが、それぞれ登録、格納される。選択手段7は、プログラムの形をとり、プリンタ管理テーブル6と、コンピュータを利用するときに入力される利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタを指定する機能をもつ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータの処理結果データを出力させるべきプリンタを自動的に選択する装置であって、一または二以上の利用者に係る識別子と、処理結果データを出力させるべきプリンタのコードとの対応関係を予め登録し格納したプリンタ管理テーブルと；このプリンタ管理テーブルと、コンピュータを利用するときに入力された利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタを求める選択手段と；を備えることを特徴とするプリンタ選択装置。

【請求項2】 請求項1に記載の装置において、プリンタ管理テーブルは、コンピュータにロードされる複数プログラムに対して共用可能であることを特徴とするプリンタ選択装置。

【請求項3】 請求項1または2に記載の装置において、利用者は、個人、グループまたは部門であることを特徴とするプリンタ選択装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、共同利用のコンピュータの処理結果データを出力させるべきプリンタを予め登録しておき、出力時に自動的に選択可能にした装置であって、プリンタ指定に係る作業の省力化が図れるプリンタ選択装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 一つのコンピュータを複数の利用者が共同利用するとき、処理結果データは、利用者の近くのプリンタに出力させるようにするのが便利である。そのために、コンピュータの利用時に入力される、利用者に係る識別子とは別に、出力させるべきプリンタを指定するための識別子を入力する必要があった。なお、利用者には、個人のこともあり、またはグループや部門のこともある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来例では、コンピュータの共同利用時に、利用者識別子を入力するのは別に、出力させるべきプリンタを指定する作業が必要で、利用者にとって不便であった。しかも、プリンタ指定は、コンピュータにロードされるプログラムごとにおこなわれた。

【0004】 この発明が解決しようとする課題は、従来の技術がもつ以上の問題点を解消して、プリンタ指定に係る作業の省力化が図れるプリンタ選択装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 請求項1に係るプリンタ選択装置は、コンピュータの処理結果データを出力させるべきプリンタを自動的に選択する装置であって、一または二以上の利用者に係る識別子と、処理結果データを出力させるべきプリンタのコードとの対応関係を予め登

録し格納したプリンタ管理テーブルと；このプリンタ管理テーブルと、コンピュータを利用するときに入力された利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタを求める選択手段と；を備える。

【0006】 請求項2に係るプリンタ選択装置は、請求項1に記載の装置において、プリンタ管理テーブルが、コンピュータにロードされる複数プログラムに対して共用可能である。請求項3に係るプリンタ選択装置は、請求項1または2に記載の装置において、利用者が、個人、グループまたは部門である。

【0007】

【作用】 請求項1ないし3のいずれかの項に係るプリンタ選択装置では、選択手段によって、プリンタ管理テーブルと、コンピュータを利用するときに入力された利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタが求められ、指定される。

【0008】 とくに請求項2に係るプリンタ選択装置では、プリンタ管理テーブルが、コンピュータにロードされる複数プログラムに対して共用可能であるから、複数プログラムに対して、共通な利用者識別子によって、出力させるべきプリンタが指定される。とくに請求項3に係るプリンタ選択装置では、プリンタの指定が、個人、グループまたは部門の各単位でおこなわれる。

【0009】

【実施例】 この発明に係るの実施例について、以下に図を参照しながら説明する。図1は実施例の構成を示すブロック図である。図1において、1はコンピュータ、2はCPU、3は入力ポート、4は出力ポート、5はメモリで、共通部分と利用者によってロードされるプログラム部分とからなる。6はプリンタ管理テーブル、7は選択手段である。プリンタ管理テーブル6と選択手段7とは、詳しく後述するように、それぞれメモリとプログラムで、実際にはいずれもメモリ5と一体化される形をとる。入力ポート3には、コンピュータ1を共同利用するための複数の入力部としてのキーボード11、12、…が、また出力ポートには、同じく複数の出力部としてのプリンタ21、22、…と、CRT31、32、…が接続されている。

【0010】 プリンタ管理テーブル6について、図2のプリンタ管理テーブルの構成図を参照しながら説明する。このプリンタ管理テーブルの構成は、左側の列に利用者識別子のコードが、これに対応して右側の列に（指定の）プリンタのコードが記載される。ここで、利用者識別子コードとプリンタコードとは一対一に限定されることはなく、一般には一または複数の利用者識別子コードが一つのプリンタコードに対応する。すなわち、一つのプリンタを一または複数の利用者によって共用される。また、プリンタ管理テーブル6は、コンピュータ1にロードされる複数プログラムに対して共用可能で、言いかえれば、プログラムに応じてプリンタ指定する必要

3

はない。このことは、利用者とプリンタとの対応を変更したいとき、共通なプリンタ管理テーブル6だけを変更すればよいから、余計な変更作業が不要で、変更ミスの恐れもない。

【0011】選択手段7は、プログラムの形をとり、プリンタ管理テーブル6と、コンピュータを利用するときに入力される利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタを指定する機能をもつ。したがって、ある利用者が、キーボード11を用い、利用者識別子を介してコンピュータ1にアプローチし、所定のプログラムをロードするとともに、選択手段7によ

って、その同じ利用者識別子と、プリンタ管理テーブル6とに基づき、プリンタ21が自動的に指定される。この指定されたプリンタを介して、その利用者によるコンピュータ1の処理結果が出力される。なお、従来例におけると同様に、プリンタの指定は、個人、グループまたは部門の各単位で、そのときの都合に応じて適宜おこなわれる。

【0012】

【発明の効果】請求項1ないし3のいずれかの項に係るプリンタ選択装置では、選択手段によって、プリンタ管理テーブルと、コンピュータを利用するときに入力された利用者識別子とに基づいて、処理結果データを出力させるべきプリンタが求められ、指定される。したがって、プリンタ指定に係る作業の省力化が図れ、また指定登録の変更が間違いなく、容易におこなわれ、しかもプリンタ指定によって、運用が利用者にとって好都合にお

4

こなわれる。

【0013】とくに請求項2に係るプリンタ選択装置では、プリンタ管理テーブルが、コンピュータにロードされる複数プログラムに対して共用可能であるから、複数プログラムに対して、共通な利用者識別子によって、出力させるべきプリンタが指定される。したがって、指定作業の省力化と、指定登録変更の正確性、容易性が支援される。

【0014】とくに請求項3に係るプリンタ選択装置では、プリンタの指定が、個人、グループまたは部門の各単位でおこなわれるから、實際上、真に有効、便利なコンピュータ利用が可能になる。

【図面の簡単な説明】

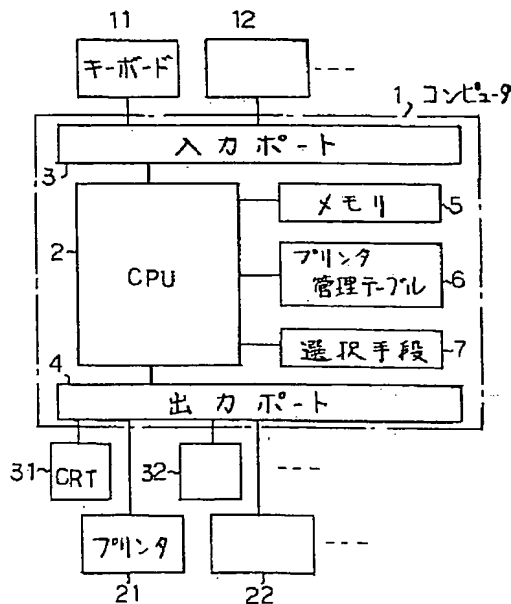
【図1】この発明に係る実施例の構成を示すブロック図

【図2】実施例におけるプリンタ管理テーブルの構成図

【符号の説明】

- 1 コンピュータ
- 2 CPU
- 3 入力ポート
- 4 出力ポート
- 5 メモリ
- 6 プリンタ管理テーブル
- 7 選択手段
- 11, 12 キーボード
- 21, 22 プリンタ
- 31, 32 CRT

【図1】



【図2】

利用者識別子	プリンタ
---	---
---	---
⋮	⋮